

科目	高齢者に対する健康支援				
時間数	1単位 15時間	授業方法	講義	授業時期	1年
講師名	③藤田景子				
実務経験	③看護師（医療機関）				
ねらい	加齢変化に加え、病、障害を併せ持つ高齢者を理解し、健康を維持するために日常生活の中で必要な看護の視点を学ぶ。				
目標	1. 高齢者の日常生活動作の評価とアセスメント、ケアの技法について理解する 2. 身体機能、認知機能に応じた日常生活援助技術について理解できる 3. 事例に適した日常生活援助を考えることができる				
授業計画					
回	内容				
1	高齢者のヘルスアセスメント 高齢者の生活を支える看護① (1) 高齢者のコミュニケーションの特徴と援助 (2) 高齢者の安全な活動への援助 (3) 高齢者の食事・食生活の特徴と援助 (4) 高齢者の排泄の特徴と援助 (5) 高齢者の清潔と衣生活の特徴と援助 (6) 高齢者の活動と休息のバランスの特徴と援助				
2	高齢者の生活を支える看護②				
3	高齢者の生活を支える看護③ プレゼンテーション				
4	対象の持てる力を活かす看護①（共通事例提示）				
5	対象の持てる力を活かす看護②				
6	対象の持てる力を活かす看護③				
7	対象の持てる力を活かす看護④ プレゼンテーション				
8	まとめ				
評価方法	その時間数の3分の2以上の出席者に限り受験資格を与える。 学科終講時に行う筆記試験 75%、演習 25%総合して評価する 60点以上を及第点とする。				
教科書	老年看護学、老年看護（病態・疾患論）：医学書院 根拠と事故防止からみた 老年看護技術 第2版：医学書院				